

学会誌電子版に関するアンケート

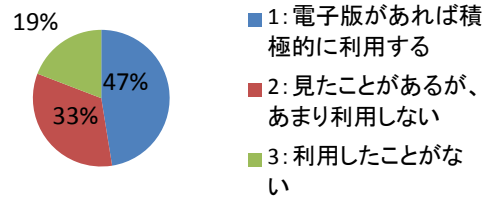
集計期間: 2014年11月12日～30日

実施方法: メールアドレス登録会員25,993名へメールで案内

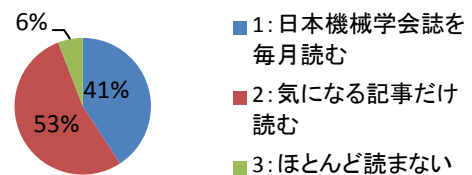
回答数: 877名 (回答率 3.4%)

ご協力ありがとうございました

Q1:はじめに、電子書籍や新聞電子版の日常的な利用について	回答数	割合
1:電子版があれば積極的に利用する	421	47%
2:見たことがあるが、あまり利用しない	296	33%
3:利用したことがない	170	19%
合計	887	



Q2:会誌の利用状況について	回答数	割合
1:日本機械学会誌を毎月読む	362	41%
2:気になる記事だけ読む	473	53%
3:ほとんど読まない	52	6%
合計	887	

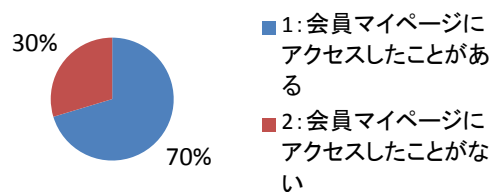


Q3:上記2,3の場合

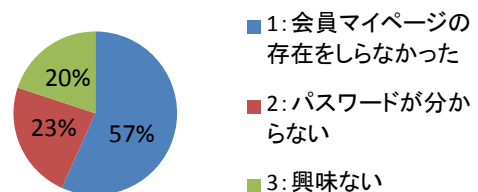
まとめ

「時間がない」「忙しい」が最も多く、「他の学会誌もある中で本誌を全て読むことは難しい」という回答を多くお寄せいただいた。本会の対象分野は広いため、「専門分野とは異なる特集は興味を持たず、どうしても関心のある記事だけを読む」という回答も多かった。また、「報告記事などを少なくして、ボリュームを少なくしてはどうか」という回答もあった。

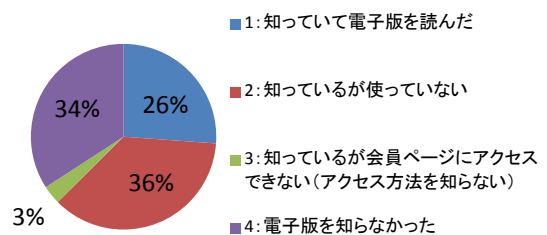
Q4:会員マイページについて	回答数	割合
1:会員マイページにアクセスしたことがある	624	70%
2:会員マイページにアクセスしたことがない	263	30%
合計	887	



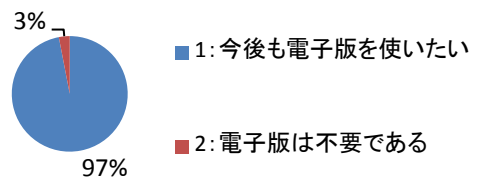
Q5:上記2:会員マイページにアクセスしたことがない方に	回答数	割合
1:会員マイページの存在をしらなかった	148	57%
2:パスワードが分からない	61	23%
3:興味ない	52	20%
合計	261	



Q6:2014年8月より日本機械学会誌電子版を開始したことについて	回答数	割合
1:知っている電子版を読んだ	232	26%
2:知っているが使っていない	323	36%
3:知っているが会員ページにアクセスできない(アクセス方法を知らない)	29	3%
4:電子版を知らなかった	303	34%
合計	887	



Q7:上記1:日本機械学会誌電子版を読んだ方に	回答数	割合
1:今後も電子版を使いたい	224	97%
2:電子版は不要である	7	3%
合計	231	

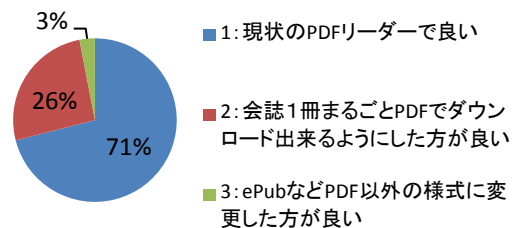


Q8:上記2:「電子版は不要である」理由

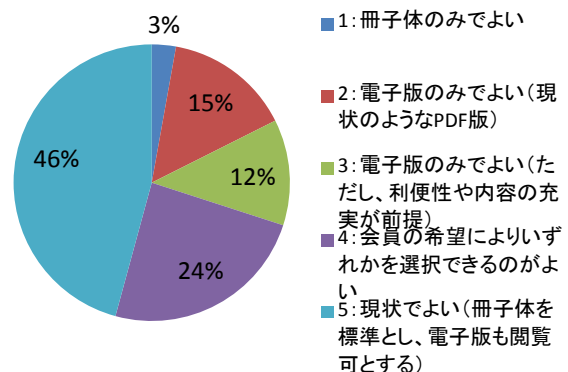
まとめ

「PCが使用できない環境の時にむしろ読みたい」、「いつでも読めることが却って読むタイミングを逃す」などの状況に関する理由、「サイズが小さく2段組みで読みにくい」、「わざわざサイトにアクセスするのが手間」といった閲覧環境に関する理由をお寄せいただいた。

Q9:Q6で1:日本機械学会誌電子版を読んだ方に電子版のスタイルについて	回答数	割合
1:現状のPDFリーダーで良い	164	71%
2:会誌1冊まるごとPDFでダウンロード出来るようにした方が良い	60	26%
3:ePubなどPDF以外の様式に変更した方が良い	7	3%
合計	231	



Q10:電子版と冊子体について	回答数	割合
1:冊子体のみでよい	25	3%
2:電子版のみでよい(現状のようなPDF版)	131	15%
3:電子版のみでよい(ただし、利便性や内容の充実が前提)	110	12%
4:会員の希望によりいずれかを選択できるのがよい	215	24%
5:現状でよい(冊子体を標準とし、電子版も閲覧可とする)	406	46%
合計	887	



Q11:上記Q10の回答に関するご意見

まとめ

冊子体を支持する視点では、「ずっととおきたい特集号もあるので、冊子は欲しい」、「電子版だけでは、広い認知度が低下することを危惧する」などのご意見があり、電子版を支持する視点では、「1冊まるごとPDFでダウンロードできれば冊子体は不要」、「PDFで電子版へ移行し、その後機能拡張すれば良い」、「基本は電子版とし、ユーザーが必要に応じ印刷すればよい」、「冊子体は数年後の処分に困る」といったご意見があった。

冊子体と電子版の使い分けという立場からは、「一覧するには冊子体が良く、自分が必要とする内容を保存するには電子版が良い」、「最初に目を通すのは冊子体、保存は電子版が便利」というご意見があった。

また、改善を希望する声として、「タブレット端末で、利用しやすいようにしてほしい」、「他の電子ブックリーダーに対応できるようにPDF版の他にも、ePub版、Web版(HTML)など複数フォーマットで配布されることが望ましい」「しばらくは冊子体・電子版の両方ともあると良い」、「過去の学会誌がPDFで見れると良い」、「google等の検索ページから検索できれば、容易に必要な情報を入手できて便利」、「検索機能などを充実させて、アーカイブ情報としての利便性を高めてはどうか」とのご意見をいただいた。

Q12:電子版ならではの利便性向上や、内容の充実への、ご要望やご意見

まとめ

改善のご要望では、「ダウンロードに時間がかかる」、「もっとアクセスしやすくしてほしい」、「印刷できた方がよい」、「バックナンバーも揃えて欲しい」といった内容が多かった。

また、利便性向上や内容の充実については、「本文のカラー化・参考文献へのリンク・関連動画の掲載」、「検索機能の充実」のご要望が多く、「簡単な読者アンケート」、「記事ごとの閲覧回数などの動向分析」などの双方向性についてのご提案もいただいた。

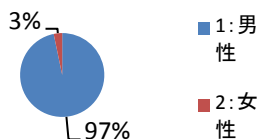
Q13:日本機械学会誌に求めるもの、あり方についてのご意見

まとめ

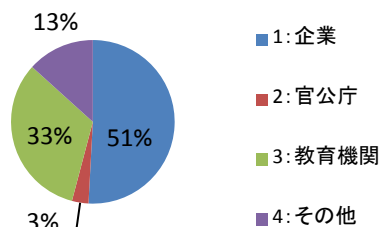
学会誌のコンテンツについて、「最新トピック、世界的な動向等などの情報」を求めるとご意見が多かった。「表紙、体裁のデザインの改良」といったデザインや体裁へのご意見もあった。

また、電子化に関係するサービスとして、「会員間でのQ&Aの欄を設けて、会員間同士のコミュニケーションを図ってはどうか」といった双方向性やネットワークの利用を進めるべきというご提案や、「学会誌だけでなく、学会出版の書籍の電子版や学会独自の情報資料を会員ページで提供してもらいたい」といったご提案もいただいた。

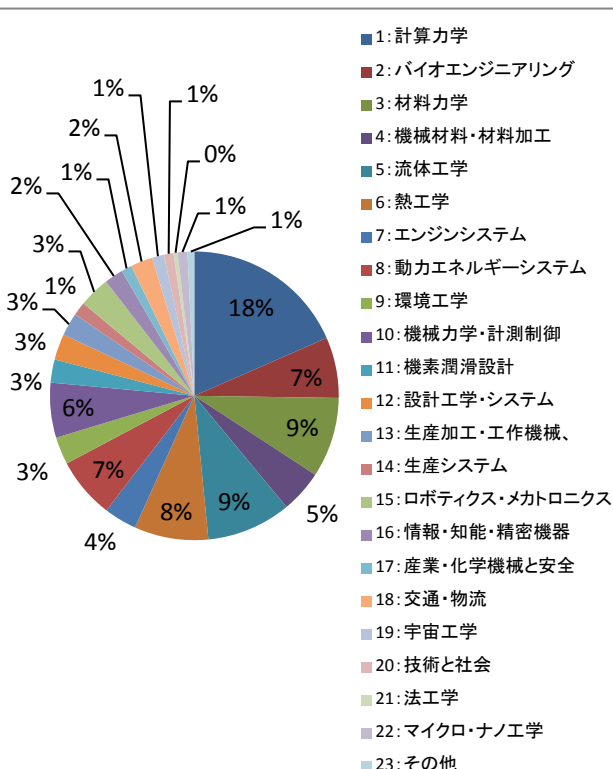
Q14:【1】性別	回答数	割合
1:男性	858	97%
2:女性	29	3%
合計	887	



Q15:【2】勤務先	回答数	割合
1:企業	451	51%
2:官公庁	29	3%
3:教育機関	289	33%
4:その他	118	13%
合計	887	



Q16:【3】専門分野(複数選択可)	回答数	割合
1:計算力学	456	18%
2:バイオエンジニアリング	168	7%
3:材料力学	222	9%
4:機械材料・材料加工	118	5%
5:流体力学	234	9%
6:熱工学	205	8%
7:エンジンシステム	91	4%
8:動力エネルギーシステム	169	7%
9:環境工学	76	3%
10:機械力学・計測制御	152	6%
11:機素潤滑設計	64	3%
12:設計工学・システム	72	3%
13:生産加工・工作機械、	64	3%
14:生産システム	37	1%
15:ロボティクス・メカトロニクス	86	3%
16:情報・知能・精密機器	52	2%
17:産業・化学機械と安全	29	1%
18:交通・物流	61	2%
19:宇宙工学	33	1%
20:技術と社会	27	1%
21:法工学	11	0%
22:マイクロ・ナノ工学	27	1%
23:その他	19	1%
合計	2473	



Q17:【4】年代	回答数	割合
1:25歳未満	47	5%
2:25～30歳	53	6%
3:31～35歳	75	8%
4:36～40歳	77	9%
5:41～50歳	237	27%
6:51～60歳	239	27%
7:61～70歳	116	13%
8:71歳以上	43	5%
合計	887	

